

みんなで楽しく過ごせる地域づくりを！ ～地域の農地を守る活動に女性も活躍～

【類型】 水稻 + 作業受託 + 露地野菜

【組織名】 農事組合法人田野川甲営農組合（平成28年1月設立）

【所在】 高知県四万十市

【構成戸数・人数】 6戸・12人

【従事者数】 オペレーター 6人

【経営規模】

水稻 17ha

（コヒカリ、飼料用米、ヒノヒカリ、モチ）

加工用キャベツ 15a

作業受託 畦塗 33a、耕耘 30a、

田植 33a、収穫 33a、

乾燥350a、籾摺1,600袋

苗 930枚



（農）田野川甲営農組合設立総会

設立の経緯

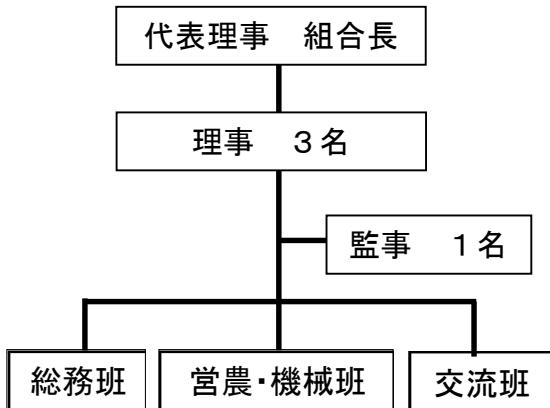
- 農家の高齢化や後継者不足、農地維持と稲作機械の負担軽減等の課題解決のため、話し合いや視察研修を行い、平成24年3月に6名の兼業農家で「田野川甲営農組合」を設立。設立後は県の事業を活用し、施設や機械を計画的に導入・活用し、規模拡大と経営発展を進めてきた。
- 平成26年末からは組織のステップアップを図るため、法人化に向けた話し合いを始め、平成28年1月に（農）田野川甲営農組合を設立した。

取組の特徴・効果

- 水稻中心の兼業農家地帯（専業農家はいない）。
- 設立当初から協業経営を開始。地区の8～9割を法人が管理している。水路の管理に地権者も参加している。
- 水稻と露地野菜（キャベツなど）を組み合わせた効率的な土地利用と高性能な農業機械による機械化作業体系の構築を目指している。
- 事業を活用し、施設、機械を計画的に導入（【主な機械・施設】欄参照）
- 経営所得安定対策等への取り組みで、水稻の約4割は飼料用米を栽培。
- 四万十市が推進するブランド米「四万十農法米」に取り組んでいる。
- 鳥獣害対策で、約20kmに及ぶ金網柵を設置。
- 各家庭の女性も参加し、野菜の栽培等を担っている。

【具体的な取組内容】

○組織体制



法人設立検討会



キャベツの栽培状況



地域貢献の餅投げ



鹿の捕獲檻の設置

【主な機械・施設】

施設・機械名	規格・型番	取得年月	事業名
農機具格納庫	120m ² (15m × 8m)	平成25年3月	集落営農・拠点ビジネス支援事業
粃摺機	4インチ		
計量選別機	4インチ		
乾燥機	40石、30石、27石	平成25年7月	
コンバイン	4条刈り、グレンタンク、デバイダー		
田植機	6条植え、側条施肥	平成27年2月	
トラクター一式	37ps、ロータリー、ハロー		
畦塗機	37ps対応		
フォークリフト	1.5t	平成26年11月	
育苗用ハウス	81m ²	平成27年	

【課題・今後の取組】

- 法人の経営計画達成に向けて、農地を集積しながら規模拡大を行う。
- 畔塗から粃摺り出荷まで一連の作業受託を行う。
- 露地野菜の栽培を進め、法人の経営安定と所得向上に努める。
- 露地野菜については、地域の高齢者や女性の労力を有効に活用する。
- 田野川地域の担い手として、地域貢献活動を積極的に進める。
- 地域の活性化と後継者の育成に繋げる。